

【意見】

大河ドラマ「真田丸」効果で、沼田市にも観光客が多く訪れるようになり、市民のひとりとしても嬉しい限りです。

小学生が取り組む沼田かるたにも、真田氏に関連する札がいくつかあり、小松姫のエピソードが最も知られています。

しかしながら、その沼田かるたを販売している所が限られており、せっかくの沼田市郷土かるたの存在があまり知られていません。上毛かるたの大会には出るが、沼田かるたは知らないという小学生もいます。

お値段も500円とお手頃なので、グリーンベルの真田丸展や市役所玄関の、市内の書店や文具店などで販売すればもっと周知されるのではないのでしょうか。

市民はもちろん、観光客にお土産としてぴったりだと思います。

女性30代：市内在住

【回答】

沼田かるたは、昭和60年10月、沼田市民有志により製作計画が立てられ、同年11月に教育委員会の文化財啓蒙活動の一環として製作することが決定し、沼田かるた製作委員会へ製作を委託、昭和62年3月に完成しました。平成元年3月5日に「第1回親子沼田かるた大会」を実施、その後名称や開催日を変え、本年度「第29回沼田市子ども会沼田かるた大会」を6月に開催し51チームの参加があり、製作趣旨である郷土についての知識を高め、郷土愛を育てていくことに取り組むとともに、近年は学校における郷土学習等で教材としての使用を進めているところであります。

また、真田丸展等や市内書店等での販売につきましては、各業者との販売委託契約や手数料等の調整が必要であります。NHK大河ドラマ「真田丸」によって、市内はもとより市外からも当市への関心が高まっておりますので、沼田かるたの製作趣旨を踏まえた取り組みや沼田かるたを活用した当市の情報発信に努めてまいりたいと考えております。

担当：教育部社会教育課社会教育係